

岡山に縁付くか 片山さつき参議院議員

改選期にらんであいさつ回り



自民党総務大臣政務官・参議院議員の片山さつき氏(54)が1日、岡山入りした。かねてから親交のある西本和馬・岡山県商工会連合会長の旭日小受章祝賀会に出席するのが主な目的だったが、寸暇を惜しんで各界関係者へのあいさつ回りに励んだ。

片山議員と岡山の因縁は意外と知られていない。片山議員の夫で元マルマン社長の龍太郎氏(56)の母方(マルマン創業者・豊氏の夫人)の祖父は、岡山市表町商店街で栗山楽器店を経営していた栗山品男氏(元岡山県商店街連合会長、山陽放送の創業出資者)。片山家も、もともとは倉敷市玉島の出身。片山議員は埼玉県浦和市の生まれで、直接岡山とのかかわりはなかったが、龍太郎氏との婚姻で縁ができた。4年前の岡山市長選の際は、二期目を目指す高谷茂男市長の応援に駆け付けるなど、岡山との縁を強めている。

片山議員は3年前の参院選で自民党から比例代表で出馬し自民候補でトップ当選した。片山家の地縁や岡山市長選応援の功績もあって、岡山県内の得票数は3300票余りを獲得した。次回の改選期をにらんで岡山入りにかかる意気込みは強い。

当日のスケジュールは、午前9時半から岡山市内であった県防災訓練へ立ち寄り、伊原木隆太知事にあいさつ、続いて西本会長の受賞祝賀会、自民党の山下貴司代議士のパーティーへと駆け足で回った。岡山市議や一部若手経済人ら数名と懇談した。

国際ゾンタ日本代表の三宅ガバナーと対談
夕刻は市内のホテルで国際ゾンタ26地区(日

噂
の花

本)ガバナー・三宅定子さん=玉野市、写真右=と女性の地位向上をテーマに対談。片山議員=写真左=はかつて女性初の大蔵省(現財務省)女性主計局主計官を歴任、女性役員・管理職養成塾の発足を計画するなど男女共同参画推進事業に意欲的。三宅さんも自民党りぶる会(女性部)玉野支部長を務め、10月10、11日には内閣府男女共同参画局の共同主催でゾンタの全国大会を岡山市に招致する。



対談で片山議員は安倍首相が成長戦略の一環で、上場会社1社につき女性役員1人という目標を設定、経団連も女性活用に向けて動き出したことに触れ、「経済界での女性活用が我が国の成長戦略のカギを握っている」と指摘。近く上場企業のメンバーらを募って、女性の地位向上を後押しする夜学の塾を立ち上げる、などと話した。

三宅さんはゾンタの海外国際会議に出席した経験や内閣府の男女共同参画推進連携会議議員を務めるなかで、日本の女性の地位がきわめて低い事実を報告。国連が推進する女性の社会的地位向上を目指す「WEPs」(女性のエンパワーメント原則)活動の一環で企業の署名運動を展開、10月に岡山で開催するゾンタ全国大会で、日本の取り組みを世界に向け情報発信することを約束した。片山議員、三宅さんは今後の経済界における女性の地位向上運動で互いに連携し合うことを約束した。